		情報を豊かり	情報を豊かに発信するための活動例	活動例
		1学期	2学期	3 学期
	目指す姿	1年の最後には andやbutなどの接続詩	andやbutなどの接続詞を使った文を交えて40語程度で文章をまとめられる。	とめられる。
	題材	STEP1:「私はこんな人です」(自己紹介文を書く)	STEP2:「My Favorite」(自分の好きな人物の紹介文を書く)	STEP3:「一年生の思い出」(心に残った出来事を書く)
1		I am $\sim$ / I like $\sim$ / I don't like $\sim$ / I play $\sim$ / I don't play $\sim$	This is $\sim$ /He (She) is $\sim$ / He (She) plays $\sim$ / He (She) doesn't play $\sim$ / He (She) can $\sim$	I visited $\sim$ / I enjoyed $\sim$ / I stayed $\sim$ / I had $\sim$ / I saw $\sim$
Ħ	量的な豊かさ	30 語程度で文章をまとめられる	30 語程度で文章をまとめられる	40 語程度で文章をまとめられる
+	質的な豊かさ	□接続詞 ~ and・・・/~ but・・・・ □ 副詞 usually/ sometimes □ 動詞 like/ love/ speak/ play/ have/ read/ watch/ live in ~/ listen to ~	□接続詞 ~ and···/ ~ but··· □(在新 him fher /it / his □副詞 usually/ sometimes/ often/ also □動詞 like (s)/ love (s)/ speak (s)/ play (s)/ have (has)/ read (s)/ watch (es)/ use (s)/	□接続詞 ~ and···/~ but··· □ 代名詞 him/ her/ it □ 副詞 there/ here □動詞 enjoy (ed) / visit (ed) / study (studied) / stay (ed) / watch (ed) / cook (ed) / take (took) / go (went) / have (had) / get (got) / see (saw)
	目指す姿	2年の最後には 事実や様子について書	事実や様子について書いた後、気持ちや考えを付け加え50語程度で文章をまとめられる	で文章をまとめられる。
	題材	STEP4: <b>「ブックトーク or ムービートーク」</b> (お気に入りの本や映画を紹介する文章を書く)	STEP5: <b>[仕事]</b> (職場体験を踏まえ将来就きたい仕事について書く)	STEP6: <b>「街ガイド FOR 遊BOY&amp;食べたGIRL」</b> (自分の街の「グルメと遊びの情報誌」を作る)
2		I like $\sim$ / My favorite $\sim$ is $\cdots$ I read $\sim$ / I watched $\sim$ / I enjoyed $\sim$ / They were $\sim$ I am going to $\sim$ / I will $\sim$	I will $\sim$ / I must $\sim$ / I have to $\sim$ /I need to $\sim$ / I would like to $\sim$ / be good at $\sim$ ing I want to $\sim$ / I enjoy $\sim$ ing $\cdots$ / I like $\sim$ ing $\cdots$ / When $\sim$ , $\cdots$ / If $\sim$ , $\cdots$ / I think $\sim$ / I hope $\sim$	It $\sim$ for $\cdots$ to $-/$ -er than $\sim/$ the -est $\sim/$ more $\sim$ than $\cdots/$ the most $\sim/$ like better than $\sim/$ is PP/ is (was) PP by $\sim/$ There is $\sim/$ There are $\sim/$ It's famous for $\sim$
Ħ	量的な豊かさ	40 語程度で文章をまとめられる	40 語程度で文章をまとめられる	50 語程度で文章をまとめられる
+	質的な豊かさ	□接続詞 ~ because···· □ (名詞 in/ them □動詞 like/ have/ want/ watch (ed) / learn (ed) / enjoy (ed) / appear (ed) / buy (bought) / find (found) / give (gave) / read (read)	□接続詞 I think ~/ I hope ~/ ~ because··· □不定詞 My dream is to be ~/ I want to ~/ things to leam/ I must learn a lot to be a cook. □動詞 want/ like/ play/ work/ speak/ learn/ cook/ read/ tell/ talk/ have/ practice	□接続詞 I think ~/ When ~,··· If ~,···/~ because··· □不定詞 I went there to see ~/ something to ~ □動詞 like/ know/ go/ enjoy/ eat/ buy/ open/ close/ say □助動詞 should/ must
	目指す姿	3年の最後には 文章を整理して内容を	文章を整理して内容をつなげ70語程度で文章をまとめられる。	
	題材	STEP7 : <b>「あこがれのあの人に!」</b> (ファンレターを書く)	STEP8: <b>「DVD・映画館、映画を見るならあなたはどっち?」</b> (トピックに応じて、主張する文章を書く)	STEP9: <b>「20歳の自分へ」</b> (未来の自分へ手紙を書く)
ಣ		I have been $\sim$ / I have never $\sim$ / I am impressed with $\sim$ / I hope $\sim$ / $\sim$ because $\cdots$ / $\sim$ if $\cdots$ / Would you do me a favor? / Could you $\sim$ ? / I am looking forward to $\sim$	We can $\sim$ /We can't $\sim$ / -er than $\sim$ / the -est $\sim$ / more $\sim$ than $\sim$ / like better than $\sim$ / It is $\sim$ for me to $\cdots$ /I have collected $\sim$	You will $\sim$ / You wanted to be $\sim$ / You enjoyed $\sim$ ing/ You have found $\sim$ / When $\sim$ ,/ If $\sim$ ,/ Your dream was to be $\sim$ Do your best./ Never give up./ Your dream will come true.
サ	量的な豊かさ	50 語程度で文章をまとめられる	60 語程度で文章をまとめられる	70 語程度で文章をまとめられる
	質的な豊かさ	□接続詞 I hope ~/~ because···/~ if··· □動詞 have/ want/ send/like/ love/ make/ play/ write/ see/ join/ enjoy/ ask/ get/ visit/ take	□接続詞 I think ~/I don't think ~/ If ~,···/ ~ so···/ ~ because··· □内容をつなげる表現/ There are some reasons./ I have some reasons./ First, ~ . Second, ~ . Third, ~./ As a result/ So ~ □動詞 like/ watch/ collect/ go/ spend/ see/ enjoy/ get/ make	□接続詞 I think ~/ I hope ~/ I believe ~/ I'm sure ~/ I know ~ cheause···/ If ~,···/ When ~,··· ~ because···/ If ~,···/ When ~,··· □ 関係代名詞主格 who/ which/ that □関係代名詞目的格 which/ that □関稿代名詞目的格 which/ that □動詞 want/ know/ like/ love/ make/ hope/ believe/ find/ study/ remember/ follow/ have/ give/ come/ do

# **STEP5** 基本文を読んで学ブためのサイトラシート

### STEP5 将来就きたい仕事に ついて書くための文を 覚えよう!



1 ☐ I want to be an engineer.	私はエンジニアになりたいです。
2   I want to be a baseball player like Darvish.	- - - 私はダルビッシュみたいな野球選手になりたいです。
3   I want to help sick people.	私は病気の人たちを手助けしたいです。
4   I want to have my own restaurant.	私は自分のレストランを持ちたいです。
5   I want to work abroad as a tour guide.	私はツアーガイドとして外国で働きたいです。
6 ☐ I need to speak English well.	私は英語をうまく話す必要があります。
7 \( \text{I need to get much experience} \) for my future job.	私には将来の仕事のためにたくさんの経験が必要です。
8 I like taking care of children.	私は子どもたちの面倒を見るのが好きです。
9 🗆 I like playing sports.	私はスポーツをするのが好きです。
10 ☐ My hobby is playing the piano.	私の趣味はピアノを弾くことです。
11  My hobby is to read comics.	私の趣味はマンガを読むことです。
12   I am good at playing tennis.	私はテニスをするのが得意です。
13   I am good at cooking Japanese dishes.	私は和食を料理するのが得意です。
14 ☐ My brother is a teacher.	私の兄は教師です。
15 My dream is to be a tennis player.	私の夢はテニスプレーヤーになることです。
16  I would like to work at a hospital.	私は病院で働きたいと思います。
17   I would like to talk about my dream.	私は自分の夢について話したいと思います。
18 ☐ I hope my dream will come true.	私は自分の夢が実現するといいなと思います。
19  I hope many children love me.	私は多くの子どもたちが私のことを好きになってくれるといいなと思います。
20  I hope many people love my cakes.	私は多くの人たちが私のケーキを好きになってくれるといいなと思います。
21  I think this job is good for me.	私はこの仕事は私に合っている仕事だと思います。
22  I have to learn a lot to work in a hospital.	私は病院で働くためにたくさん学ばねばなりません。
23  I must learn cooking to be a cook.	私は料理人になるために料理を学ばねばなりません。
24  There are many things to learn about cooking.	料理について学ぶべきことがたくさんあります。
25   If people like my cakes,  I will be happy.	もし人々が私のお菓子を好きになってくれたら、 私はうれしいです。
26 The shopkeeper told me a lot about his job.	店主は彼の仕事についてたくさん私に話してくれました。
27   I had a work experience at a restaurant.	私はレストランで職場体験しました。
28   I learned a lot about cooking there.	私はそこで調理についてたくさん学びました。
29 ☐ To be a teacher, I have a lot of things to learn.	先生になるために 私は学ぶべきことがたくさんあります。
30 So I practice playing baseball every day to be a baseball player.	だから私は野球選手になるために毎日野球を練習しています。

### ☆ サイトラシート「マナブくん5」の見方

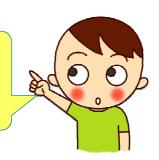
- \* <mark>青文字は動詞</mark>です。英語では結論を先に言う(誰が・どうする)ので主語の直後に置かれます。覚えよう! \* <mark>赤文字は語と語、文と文のつながりやまとまりを生み出したり気持ちや考えを述べる表現</mark>です。文の構成がしっかりします。 (赤下線部の表現は、同じ表現の繰り返しを避けるために代名詞や副詞に置き換えられています。) \* <mark>縁文字</mark>は<mark>入れ替えが可能な単語</mark>です。自分の言いたいことに合わせて自由に単語を入れ替えられます。

## STEP5

英文がどんどん書ケルようになるワークシート

# カケルくん

STEP5 「仕事」 職場体験を踏まえて 将来就きたい仕事に ついて書こう



2年 組 番 氏名

### 文章を作成する手順

- (1) まず、センテンス・カード「FCマナブくん」をリングから外し、バラバラにして机 の上に並べよう。
- (2)書く内容に応じて、使いたい「文」のカードを自由にそして好きなだけ選び、それ らを組み合わせて文章にしよう。
- (3) カードを組み合わせてできた文章を「カケルくん(つづき)」に記入しよう。シートに記入する際、以下の点に気を付けよう。
  - ①文を並べて文章にするときの注意事項

#### [文の並べ方 CHECK LIST]

<書き出し:何になりたいのか>

□将来就きたい仕事は・・・

<その仕事と自分との関係>

- 口就きたいと思ったきっかけ (親兄弟の影響/趣味・特技/体験)
- 口その仕事に対する自分の思い

(こうなりたい/これからどうする/何をすべきか/何が必要か)

<結び>

- □思いの実現に向けて(決意)
- ②文章を整理するときの注意事項

#### [文章整理の CHECK LIST]

- □内容的に関連のある文を and や but を使ってつなげてみよう。
- \* I want to help sick people and I have to learn a lot to work in a hospital.
  - 口人名や場所を連続して使うときは、代名詞や副詞に置き換えてみよう。
- \* I had a work experience at a restaurant. I learned a lot about cooking there (220).



# カケルくん(つづき)

1:1	以下の動詞・	・助動詞	(を含む表現)	の意味を書いてみ	よう。	(REVIEW)
-----	--------	------	---------	----------	-----	----------

	want	to	□ tell	$\square$ I hope $\sim$
	spea	k	□ work	$\square$ I think $\sim$
	learn	 l	□ talk	□ will
	like		□ have	☐ must
	play		☐ practice	$\square$ have to
	cook		□ be	$\square$ need to
	read		☐ I would like to	<b></b>
2 : 1	この動詞	詞を積極的に使って自分が	- 将来就きたい仕事について、できるだ	けたくさん英文で書いてみよう。(10分
数	順		英文	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
10				

# STEP 5

気持ちや考えを盛り込んで、 文章をうまくまとめよう!

作成した文章の構造(コウゾウ)をより

しっかりとしたものにするためのチェックリスト





圧	組	番	氏名
<del></del>	沁口	<b>BB</b>	

1:使うことができた表現は口に✔を入れよう。

2:**使うことができた表現を含む文**にマーカーでラインを入れ、グループ内で情報交換するときに、友だちがどの文を参考にしたらよいか分かるようにしておこう。

気持ちや考えを述べる表現		日 ⁄別			
want to	i	I want to be an engineer.			
□ would like to		I would like to work at a hospital.			
□ need to	i		erience for my future job.		
$\Box$ have to	i		· ·		
□ must	ı	I have to learn a lot to work in a hospital.  I must learn cooking.			
$\Box$ I hope $\sim$		I hope many children love me.			
$\Box$ I think $\sim$	<u> </u>	I think this job is good for me.			
□ will □ if	1	I will be happy if people like my cakes.			
□ to ~ (副詞不定詞「~するために」)					
☐ want/wanted	□ work/work	rked	けているかチェックしよう。 □ speak/spoke		
☐ learn/learned	☐ talk/talke		☐ tell/told		
☐ like/liked ☐ pract ☐ play/played ☐ cook/cooked		oracticed	<ul><li>☐ read/read</li><li>☐ have/had</li><li>☐ is,am,are/was,were</li></ul>		
4 : 以下の表現について、後に続く語として、動詞の原形が正しく用いられているか ックしよう。					
□ will	$\square$ have to		$\square$ would like to		
□ must	$\square$ need to				

5:友だちの文章をグループ内で回覧し、参考になる文(自分の文章作成にも使えそうな文)を自分のワークシートの所定の欄に書き取り、自分の文章の再構成に生かそう。

今度は自分の文章をまとまりのあるものにするために・・・

自分の文章をもっと良くす るために、友だちの文章を 参考にしよう この表現を使うと内容が まとまるわね**❤** 

この表現いいねぇ!



# STEP 5

気持ちや考えを盛り込んで、 文章をうまくまとめよう!

# コウゾウくん2



2年 組 番 氏名

6:今度は自分の文章をまとまりのあるものにするための作業に入ろう。



10

課題:友だちの文章の中で ぜひ取り入れてみたい表現 を2~3文書き出してみよう この表現を使うと内容が まとまるわね**❤** 

この表現いいねぇ!

7 : 慧	ききり	よした表現を参考に文を付け加えたり書き換えたりして自分の文章を再構成しよう
数	順	<b>英</b> 文
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

# 英語科学習指導案

指導者 五十嵐 豊

#### 1 題材名

Step5「仕事-職場体験を踏まえ将来就きたい仕事について書く-」(「情報を豊かに発信するための活動例より」)

#### 2 考 察

#### (1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領「外国語の内容(1)言語活動 工書くこと(エ)自分の考えや 気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと」の 活動を主体として、「(3) 言語材料 工文法事項 (イ)文構造c(a)のうちの主語+動詞+動名詞/to不定詞/thatで始まる節及び(エ)動詞の時制の用法」の習熟を目指して具体的に構成したものである。

本題材は、英語による発信力を高めるための表現活動例「情報を豊かに発信するための活動例」の第2学年2学期に位置付けられている。職場体験を踏まえ将来就きたい仕事について、1学期に学習した文法事項を含む様々な構文を用いて40語程度の文章を作る活動である。

本県では、職場体験学習を中心に生徒の自己理解や職業理解を促し、自分の夢や希望をどのように達成するかを考える学習を通してキャリア教育の充実を図っている。協力校においても9月上旬に職場体験を5日間実施している。教科書ではすでに職業について触れており(New Horison English Course Book2 Unit3 My Future Job)、将来の仕事について考えるよい機会である。

本題材で扱う主な言語材料(すべて既習事項)は、動名詞、to不定詞、接続詞thatで始まる節、動詞の時制(現在形、過去形、未来形)及び助動詞である。1学期までに学習した様々な構文を使って、情報を量的にも質的にも豊かに発信できるようになることを目指す題材である。

#### (2) 生徒の実態

本学級の生徒(2年〇組 男子〇名 女子〇名 合計〇名)の本題材にかかわる技能の実態を把握するため、以下のような課題を実施した。(課題実施時、女子1名欠席)

E TELET A DICEOUT ON A CONTROL OF COMPANY OF THE CONTROL
【課題】職場体験を踏まえて、自分が将来就きたい仕事について英語で書く
解答の分析
①内容(指定されたテーマについて事実を述べた後、自分の気持ちや考えを 1 ~ 2 文加えた文章になっているか)
②分量(20語以上になっているか)
③文法(動詞を適切に使用しているか)
解答の結果と分類
1、①②③全てを満たしている・・・・・・・・・・・・・・・・ 7名(20%)→正答
2、①②は満たしているが、動詞の使用について軽微なミスがある・・・・・・ 2名(6%)
3、①③は満たしているが、分量は満たしていない・・・・・・・・・・・ 1名(3%)
4、①は満たしているが、②③は満たしていない・・・・・・・・・・・・ 2名(6%)
5、①②③全て満たしていない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20名(59%)
※5のうち無解答の生徒は3名
6、その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2名(6%)

- ・目標とする語数(20語)を満たした生徒は全体のおよそ4分の1(9名)であった。また目標語数を満たしていない生徒(25名)のうち、13名が10語以下しか書けていない(無解答3名)。この結果から、情報量を多く含む文章を構成できないことが分かる。
- ・自分の気持ちや考えを1~2文加え文章をまとめた生徒は12名であった。そのうち、節を導く接続詞(because/so)を用いて気持ちや考えを導くことができた生徒が5名、andやbutなどの等位接続詞を使って文と文のつながりを意識しながら文章にまとまりをもたせることができた生徒が3名、順序を表す言葉などを使用し整理しながら内容をつなげることができた生徒が4名であった

(2項目以上の使用が認められる生徒はそれぞれの項目ごとに人数をカウントしてある)。この 結果から、文章をまとめるために、接続詞や順序を表す言葉を充分に活用できていないことが分 かる。

・動詞の適切な使用については、全体の60%以上の生徒(22名)に、主語や時制に応じた語形変化、 助動詞や不定詞の使用で誤答が見られ、動詞の特性についての理解が十分でないことが分かる。

#### (3) 題材の系統

言語活動及び言語材料の系統(まとまりのある一貫した文章を書くことに関連した言語材料の系統)

文と文のつながりを考えて40語程度で構成された文章を作る

丰

取り扱う題材:「自己紹介」、「自分の好きな人の紹介」、「心に残った出来事」

言語材料(主に文と文のつながりをもたせる表現):接続詞(and、but)、3人称の代名詞(主格、目的格、所有格)、副詞(there、here)

2 年 事実について書いた後、自分の考えや気持ちを1~2文加えて50語程度で構成された文章を作る

取り扱う題材:「好きな映画や本の紹介」、「職場体験を踏まえた将来就きたい仕事」、「自分の街のグルメや遊びの情報誌」

言語材料(主に自分の考えや気持ちを述べる表現): 動名詞、to不定詞(名詞不定詞、副詞不定詞、形容詞不定詞)、that節を含む文

3 年 順序を表す言葉などを使用し整理しながら内容をつなげe-mail、手紙、主張文等の形式に沿って70語程度で構成された文章を作る

取り扱う題材:「手紙文」、「トピックに応じた主張文」、「メッセージ文」

言語材料:中学校学習指導要領外国語の内容 2 (3) -エ文法事項-(7)~(f)の内容で題材に応じて文章構成する際に必要なものを随時使用する

#### 3 目 標

将来就きたい仕事について職場体験を踏まえた上で、自分の考えや気持ちを $1\sim2$ 文加えて、40 語程度の英語で書くことができる。

#### 4 授業中における生徒指導

- ・卒業後の進路設計や夢の実現のための具体的な展望を意識した上で、職場体験で学んだことや、 職場体験を通して得た目標を、自分の良さや特徴と関連付けて書くことができるよう助言する。
- ・振り返りカードへの記入を通して活動のめあてや達成状況を細かくチェックすることで、学習意 欲の向上につなげるとともに、授業での一つ一つの学習の成立を確実に図る。

#### 5. 指導と評価の計画

観	コミュニケーションへの	外国語表	現の能力	外国語理解の能力	言語やこ	文化に	つい	ての	
点	関心・意欲・態度				知	汨識・	理解		
評	①既習の英語表現を使って自分	できるた	ごけ多くの	グループ活動にお	①センテンス・カードやサイ		きサイ	トト	
価	の考えを書いたり話したりする	英文を使っ	って将来の	いて、他の生徒の作	ランスレージ	ンョン	・シー	ートに	よる
規	活動に、意欲的に取り組もうと	仕事につい	ヽて書くこ	った英語の文章の内	音読練習で、	英文	を「フ	と」 の	まま
準	している。	とができる	) <sub>o</sub>	容を理解できる。	理解できる。				
	②グループ活動で学んだこと				②発信に必要	更な「	文」の	り発音	• 構
	を、自分の発信に活かそうとし				造・日本語の	意味を	と理解	できる	0 0
	ている。								
時	主な学習活動		指導上の	留意点及び支援・評値	<b></b>	関	表	能	知
	□学習のねらい ○学習活動								
	1週目(各時間の最初の10分間を	使って行う)				_			
事	□STEP5で発信する活動に必要なす	英語の表現		英語の表現を発信する?					
前	を「文」単位で習得する。			用できるように、カー	ドの英語の表				
指	○センテンス・カード「FCマナフ			量なく触れさせる。	. 1				
導	使って、音読や口頭での英文和	口訳や和文	27.5	ンテンス・カードの英					$\circ$
	英訳を繰り返し行う。			したり口頭で英文和訳、					
			たり	) する。(振り返りカート	(の記録分析)				
		<b>サーマクラン</b>							
	2週目(各時間の最初の10分間を			大宝の実明とが伝ふっ	と よ の ++ 101 1:	-			
	│ □STEP5で発信する活動に必要なす	と 語の 表現		英語の表現を発信する?					
1	│ を「文」単位で習得する。		して使り	目できるように、カー	トヤンートの		I	1	

	<ul><li>○センテンス・カード「FCマナブくん」を使って、音読や口頭での英文和訳や和文英訳を行う。</li><li>○サイトトランスレーション・シート「マナブくん」を使って、音読や口頭での英文和訳や和文英訳を繰り返し行う。</li></ul>	英語表現に万 遍なく触れさせる。 [知]:センテンス・カードの英文を正しく音 読したり 口頭で英文和訳、和文英訳したりする。 [知]:サイトトランスレーション・シートの 英文を正しく音読したり口頭で英文和訳、和文英訳したりする。 (振り返りカードの記録分析)				0
1	□STEP5で発信する活動に必要な英語の表現を「文」単位で習得できているか確認する。 ○センテンス・カード「FCマナブくん」やサイトトランスレーション・シート「マナブくん」を使って、音読や口頭での英文和訳や和文英訳を行う。 □英文を書くときのルールをチェックする。 ○ルールを復習するためのワークシートを使って、聞き手のことを考えた読みやすい記述方法を復習する。	・多様な英語の表現を発信するための材料として使用できるように、カードやシートの英語表現に万温なく触れさせる。  [知]:センテンス・カードやサイトトランスレーション・シートの英文を正しく音読したり口頭で英文和訳、和文英訳したりする。(振り返りカードの記録分析)・ワークシートでの活動を通して、これまで学習した英文を書く際の注意点を振り返らせる。  【知】:英文の書き方について正しく理解する。(ワークシートの内容分析)				0
2	□STEP5で発信する活動に必要な英語の表現を「文」単位で習得できているか確認する。 ○センテンス・カード「FCマナブくん」やサイトトランスレーション・シー所での英文和訳や和文英訳を行う。 □テーマに応じて、量的に豊かな文章を作る活動を行う。 ○文章作成シート「カケルくん」を使って「情報を豊かにするための活動例」STEP5の課題「将来就きたい仕事について書く」に取り組む。 【活動の手順】 ①文章作成に活用できる動詞や助動詞の意味を確認する。 ②テーマに沿った英文をできるだけたくさん書く。	・多様な英語の表現を発信するための材料として使用できるように、カードやシートの英語表現に万遍なく触れさせる。 [知]:センテンス・カードやサイトトランスレーション・シートの英文を正英英訳したり口頭で英文和文英訳したりする。(振り返りカードの記録分析)・未習の英語表現の使用はできトランスレーション・シートで事前に学習した英語の表現を積極的に使わせる。・未習語(職業名)については、あらかじめ用語集を用意し、希望する生徒に配付する。・必要に応じて事前に学んだ「文」をセンテンス・カードを見て確認させたりする。・必要に応じて事前に学んだ「文」をカードを組み合わせて文章の姿を具体的にイメージさせたりする。 [関・表]:学習した英語表現を使って、より多くの情報を発信する。(文章作成シートの内容分析)	0	0		0
3	□STEP5で発信する活動に必要な英語の表現を「文」単位で習得できているか確認する。 ○サイトトランスレーショ音読ででで、シーロの英文を行う。 □文章をテーマや形式に沿って質的に豊かな文章に再構成する活動を行う。 □文章をテーマや形式に沿って質的に豊かな文章に再構成する活動を行う。 ○文章をテーマや形式に沿って質的に豊かな文章に再構成する活動を行う。 ○文章をテーマや形式に沿って質的に豊かな文章に再構成する活動を行う。 ○文章をテーマや形式に沿って質的に豊かな文章に再構成する活動を行う。 ○文章とリカーカーが、「個点をやがアリカーの手順」 ○文クでの手順」のでは、主要では、プローのででは、大変をでで、大変をでで、対が表をでで、対が表をでで、対が表をでで、対が表をでで、対が表をでいた。 ○②でで、「カケルというでで、大変で、「の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人	・多様な英語の表現を発信するための材料として使用できるように、シートの英語表現に万遍なく触れさせる。  「知]:サイトトランスレーション・シートの英文を正しく音読したりロ頭で英文和訳、和文英訳したりする。(振り返りカードの記録分析) ・チェックリストを使って、文章としての一貫性に視点を当てて自分の章をも自己チェックした文章を参考に自分の文章をより良いものに再構成する。・気持ちや考えを1~2文付け加えた文章になるように、再構成の際、まれればよいことを確認する。 「関・理]:チェックリストを参考に、語の使い方や文のつながりにましながらより良い文章にする。(チェックリスト、文章作成シートの内容分析)	0		0	0

#### 英語科学習指導案 第1時 1/3

題材名 仕事:将来就きたい仕事について書く(情報を豊かに発信するための活動例より STEP5)

(1) ねらい

発信するための材料である英語の「文」の意味を理解し、音読することができる。

(2) 準備

教科書(NEW HORIZON English Course 2、センテンス・カード「FCマナブくん」、サイトトランスレーション・シート「マナブくん」、ルールチェックのためのワークシート、STEP CARD(振り返りシート)

		T	1
時			○評価規準
間	○学習活動	○指導上の留意点	A「十分満足」
			B「おおむね満足」
			(評価方法)
8 分	1 【ウォームアップ①:リーディング】 ○センテンス・カードを使って、発信する材料として必要な「文」を、繰り返し音読したり、口頭で英文和訳・和文英訳したりする。  活動の流れ のさせ方を変えながら、何回も見たり音読したりして「文」に触れる。 1回目:英文を見ながら音読する(2分)2回目:英文を見て和訳する(2分)3回目:日本語を見て英訳する(2分)※1回目~3回目まで、いずれも時間を決めて行う。 ○本日の活動結果を振り返りシートに記入する。	て使用できるようにカードの 「文」に満遍すると、 「それの練習を 指導の目 ・はさる。 ・音にのスピードに留意さる。 ・音に合うように正確に和訳 をせる。 ・音に合うように正確に英い のと、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	の英理が と A:セサシっ音文で スト・文、英 のまで ンント・文、英 のまでで ンテイョで読」を サシっ音文で ファイ・ で で で で で で で アイ・ で で で で で で で で で で で で アイ・ で で で で で で で で アイ・ で で で で アイ・ アイ・ アー で で で で アイ・ アー で で で で アイ・ アー で で で アイ・ アー で で で アイ・ アー で で アー で で アー アー で で アー アー で アー アー で で アー アー で で アー アー で で アー アー で アー
12 分	2 【ウォームアップ②:リーディング・リスニング】 ○サイトトランスレーション・シートを使って、「文」 を正しく音読したり、英文を正しく和訳したりでき ているかチェックする。(ペアワーク)	<ul><li>させる。</li><li>○ペアワークの際、相手に伝わるような音量や正確な発音で「文」を音読させる。</li></ul>	やサイトランスト ・サインスト・シーク ・サインスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	活動ののにおいてで変互に音読し合い、その取組内容を評価シートに記入する。 1回目:英文を見ながら音読する。(2分×2)2回目:英文を見て和訳する。(2分×2)0本日の活動結果を振り返りシートに記入する。		(振り返りカードの記録分析)
25	3 【ライティング】 ○ワークシートを使って、英文を書く際の注意点を復習し、読み手のことを考えた読みやすい記述方法を確認する。  「活動の流れ」 ○ワークシートの課題に取り組む。(以下は取り組む手順) 1 語と語の間隔を空けていない小文字だけのアルファベットのかたまりを、大文字・小文字を区別し、必要な符号を正しい位置に入れて正しい英文に解読し、書き下ろす。 2 答え合わせを行うとともに、チェックリストの項目に従って大文字・・小文字・符号等が正しく記入されているかどうかチェックする。 3 解読したメールの内容に関してコンプリヘンションチェックする。	○英語を書く際に、読み手に合う を書した。 を書したなりにではないでにしてならりにでいる。 でする。 でする。 ですりではないではないでは、気の時ではないではできる。 でする。 のののでは、気の時ではないでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 ののののでは、 のののののでは、 ののののののでは、 のののののののののののののののでは、 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	
5 分	4【振り返り】 ○本時の学習を振り返り、自己評価する。  活動 の自分の取組について自己評価する。 1 センテンス・カードやサイトトランスレーション・シートで音読練習した「文」を十分に習得している。 2 英文を書く際の注意点を守って、文章を書くことができる。		

#### 英語科学習指導案 第2時 2/3

題材名 仕事:将来就きたい仕事について書く(情報を豊かに発信するための活動例より STEP5)

(1) ねらい

テーマに応じてセンテンス・カードやサイトトランスレーション・シートを用いて学んだ「文」を自由に組み合わせて文章を構成する活動を通して、十分な情報量をもつ文章を作ることができる。

(2) 準備

教科書 (NEW HORIZON English Course 2、センテンス・カード「FCマナブくん」、サイトトランスレーション・シート「マナブくん」、ワークシート「カケルくん」、参考表現集 (職業編)、STEP CARD (振り返りシート)

時			○評価規準
間	○学習活動	○指導上の留意点	A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
8 分	1 【ウォームアップ①:リーディング】 ○センテンス・カードを使って、発信する材料として 必要な「文」を、繰り返し音読したり、口頭で英文 和訳・和文英訳したりする。	て使用できるように、カードの 「文」に満遍なく触れさせる。	
	<ul> <li>活動の流れれり</li> <li>○練習のさせ方を変えながら、何回も見たり音読したりして「文」に触れる。</li> <li>1回目:英文を見ながら音読する(2分)</li> <li>2回目:英文を見て和訳する(2分)</li> <li>3回目:日本語を見て英訳する(2分)</li> <li>※1回目~3回目まで、いずれも時間を決めて行う。</li> <li>○本日の活動結果を振り返りシートに記入する。</li> </ul>	【それぞれの練習タイプに応じた 指導の留意点】 1回目:はっきりと、英語らしく を意識させる/音読のスピードに 留意させる。 2回目:英語に合うように正確に 和訳させる。 3回目:日本語に合うように正確 に英訳させる。	
12 分	<ul><li>2【ウォームアップ②:リーディング・リスニング】</li><li>○サイトトランスレーション・シートを使って、「文」を、書かれている通り正しく音読できているか、英文を正しく和訳できているかチェックする。(ペアワーク)</li></ul>	○ペアワークの際、相手に伝わるような音量や正確な発音で「文」を音読させる。	
	活動の流れ。		
25	<b>3【ライティング】</b> ○ワークシート「カケルくん」を用いて、量的に豊か な文章を書く活動を行う。  括	材料として使用できるように、	<ul><li>○テーマに応じて学んだ「文」を自由に組み合わせて文章を構成す</li></ul>
分	○ 文章作成に活用できる動詞や助動詞の意味を確認する。         の         流	に満遍なく触れさせる。 ○未習の英語表現の使用はできる だけ避け、サイトトランスレー ション・シートやセンテンス・	る活動を通して、十分 な情報量をもつ文章を 作ることができる。
	れ ○書き出した「文」の順序を、話題の関連やつながりに応じて整理し、文章として整える。	カードであらかじめ学習した英語表現を積極的に使わせる。 ○未習語(職業名)については、あらかじめ用語集を用意し、希望する生徒に配付する。	A:習得した「文」をできるだけたくさん使って40語程度の量的に豊かな文章を作ることができる。
		○必要に応じて事前に学んだ「文」 をセンテンス・カードを見て確 認させたり、カードを組み合わ せて文章の姿を具体的にイメー ジさせたりする。	B:習得した「文」をい くのでを文字でで に沿った文章を作る ことができる。 (文章作成シートの内 容分析・振り あー ドの記録分析)
5	4【振り返り】 ○本時の学習を振り返り、自己評価する。		
分	○本時を振り返り、以下の項目について授業での自分の取組について自己評価する。		
	V L 3 3 - 3 3 - 3 3		

#### 英語科学習指導案 第3時 3/3

題材名 仕事:将来就きたい仕事について書く(情報を豊かに発信するための活動例より STEP5)

(1) ねらい

文章としての一貫性に視点を当てて、自分の文章をグループ内でチェックし合い、他の生徒の文章を参考に、自分の文章をより良くする活動を通して、気持ちや考えを質的に豊かに発信することができる。

(2) 準備

教科書 (NEW HORIZON English Course 2、センテンス・カード「FCマナブくん」、サイトトランスレーション・シート

「マナブくん」、ワークシート「カケルくん」、ワークシート「コウゾウくん」、STEP CARD (振り返りシート)

	「マナブくん」、ワークシート「カケルくん」、ワークシート	「コワクワくん」、SIEP CARD(振り返り)	) — F)
時間	○学習活動	○指導上の留意点	○評価規準(評価方法) A「十分満足」 B「おおむね満足」
分	1【ウォームアップ】 ○センテンス・カードを使って、発信する材料として必要な「文」を、繰り返し音読したり、口頭で英文和訳・和文英訳したりする。  ○練習のさせ方を変えながら、何回も見たり音読したりして「文」に触れる。(7分) 1回目:英文を見ながら音読する(3分) 2回目:英文を見て和訳する(4分) 3回目:日本語を見て英課題う ※1回目~3回目まで、連続して行う(7分)がいずれも時間の上限を決めて行う。(1回目:3分・2回目:4分・3回目は発展課題で7分以内にできるところまで進める) ○本日の活動結果を振り返りシートに記入する。		
20	<b>2【リーディング】</b> ○ワークシート「コウゾウくん」を使って、文章の質的な豊かさを求める活動を行う。(4人でのグループワーク)		に視点を当てて、自分 の文章をチェックし、
分	<ul> <li>○文章としての一貫性に視点を当てたチェックリストを使って、自分の文章をチェックし、グループ内で共有したい文章を選び出す。</li> <li>○選び出した文章をグループ内で回覧し、他の生徒の文章の参考となる部分を見つけ、自分の文章に加えたい文を2~3文ワークシートに書き出す。</li> </ul>	共有させる。	部分を参考に、自分の 文章をより良し、 うの気持ちの気持ちできる。 いたまる。
15 分	3 【ライティング】  ○チェックして気付いたことを参考にワークシート「カケルくん」で作った英文を再構成する。  ○グループのメンバー同士の交流で気付いたことを生かし、文章をより良いものに再構成する。 【具体的な指示】 ○気持ちや考えを1~2 文付け加えた文章になるように、再構成させる。 ○文章再構成の際、チェックリスト上の項目(気持ちや考えを述べる表現/動詞の適切な使用/助動詞)に挙げられている具体的な英語表現のうちの幾つかが含まれればよいことを確認する。	○slow learnerへの配慮 相間指導で随時助言する。文文的問題で随時助言する。文文的問題に現を可能に見たい英語で対した以及のである。文文的は対した。 を正で考え付け加えの配慮に対しが表す。 自作の文章にですって、文文を英文的ででは、分分ででででででででででででででででででででででででででででででででで	かに発信できる。 (文書作成シートの内
5 分	4【振り返り】 ○本時の学習を振り返り、自己評価する。 ○本時を振り返り、以下の項目における授業での自分の取組について自己評価する。 ・自分の文章のチェックが充分できたか。 ・他の生徒の参考となる部分を見つけ自分の文章の再構成に生かすことができたか。 ・気持ちや考えが1~2文入った40語程度の文章を作ることができたか。	1文加える。	